



2025年度

かがやけ

かわらっこ

人権啓発ポスター・標語作品集



香春町・香春町教育委員会

～子どもたちの未来のために～

人は、幸せになりたい、自分らしく生きたいという願いをだれもがもっています。それは、大人も子どもも同じです。世界には、戦争や貧困、飢餓という厳しい状況の中で暮らしている子どもが数多くいます。また、平和で豊かといわれている国でも、いじめや虐待により、心も体も傷ついたり、夢や希望をもてないまま自らの命を落としてしまったりする子どももいます。

今、子ども一人ひとりが安心して育つためには、何が必要なのでしょうか。1994年、日本は「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」を批准しました。この条約の中では、世界中のすべての子どもに、健やかに幸せに『生きる』・『育つ』・『守られる』・『参加する』権利を認め、その権利を行使できるように保障しています。さらに、「大人は、子どもにとって一番良いこと（最善の利益）とは何かということを考えなければならない」と、うたっています。

しかし昨今では、「いじめ」や「児童虐待」などにより、子どもの人権が侵害されている状況があります。本来、子どもは、家族や友人、さまざまな大人と豊かなかわり合いをもちながら、いろいろな体験や活動を通して、生きる力と社会性を身につけ、自立への精神をつちかっています。何かに失敗しても間違ってもやり直しができ、選択肢がたくさんあることを、いろいろな経験から学習します。

こうした中で、すべての子どもが健やかに育つには、家庭・学校・地域全体で見守り、子どものまっすぐな気持ちにじっくりと向き合うことが大切なことだと思えます。

本誌掲載の標語、ポスターについては、香春思永館の9年生から標語を、6年生からポスターを募集し、昨年12月の人権週間にあわせて町民センターにて展示したものです。

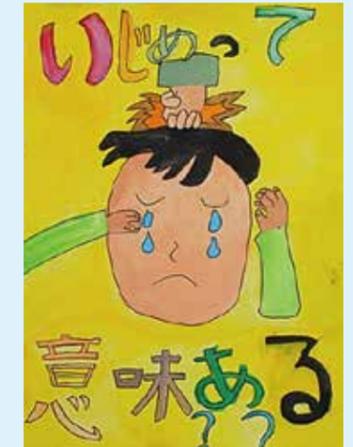
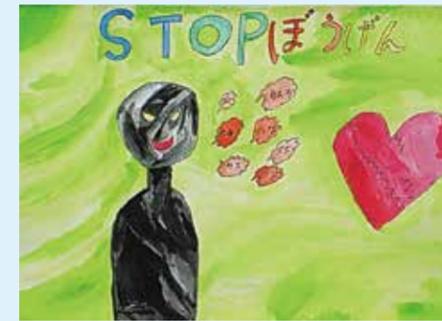
全ての作品から、命の尊さや差別への憤り、「いじめ」をなくそうというメッセージが伝わってきます。

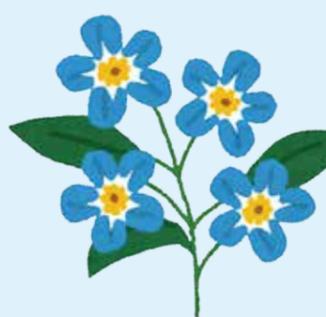
これらの作品のメッセージが家庭や地域、職場において、多くの方の人権問題に関する認識と理解を深めるための一助となれば幸いです。

尚、作成者の名前については、個人情報・プライバシーに配慮し割愛させていただきます。

2026年3月

かわらまち かわらまちきょういくいいんかい
香春町・香春町教育委員会





2025 年度人権標語

香春思永館 9年生

- ちがうから すてきがふえる この世界
- 尊重し合う 大事な人の 笑顔のために
- その行動 その言葉 傷ついているかも 考えて
- 差別なく 誰もが輝く この町で
- 空見上げ 大きな世界 手を繋ぎ 個性が飛び交う 人間のよう
- 見直そう 自分の言動 大丈夫？
- 地球はね 誰も端っこで泣かないように 丸いんだよ
- さりげない 心配りに ありがとう
- 認めよう 色んな時代 多様性

